

2012. 1. 30 第82号



地域づくりコミュニケーション  
— 農村振興メールマガジン —

農林水産省農村振興局



◆◆ 目次 ◆◆

【 農村振興支援情報 】

■ 災害対策情報

◇農山漁村における被災者受入れ支援の取組み

【 農村振興支援情報 】

■ 地域活性化に向けた取組

◇限界集落で村おこし 人気ブロガー招き、地域の魅力PRツアーを実施  
～上中ふるさとづくり地域協議会～

◇離島初のクラインガルテンが今春開業  
～愛知県西尾市～

■ 報告・お知らせ

◇「グリーン・ツーリズムインストラクター研修会」の開催案内

◇歴史的風致維持向上計画の認定報告（12／6）

◇住民参加型計画作成手法に関する研修会（ワークショップのシナリオ作成  
研修）の開催案内（2／15～2／17）

◇「農山漁村コミュニティ・ビジネスセミナー」の開催案内

◇農村計画学会2012年度春期大会シンポジウム開催案内（4／7）

\*\*\*\*\*

【 農村振興支援情報 】

## ■ 災害対策情報

### ◇農山漁村における被災者受入れ支援の取組み

農林水産省では、農山漁村における被災者受入れ支援として、地元に加え、全国の市町村における農林水産業関係の雇用等の情報、活用できる農地や耕作放棄地の情報、空き家等の住まいの情報等の受入情報を被災地域へ提供しています。

(1月19日現在)

- ・受入れ可能施設数：約2,400戸、受入れ可能人数(推計)：約20,000名
- ・受入れ状況[累計]：52(52)戸において148(148)名が入居、20(20)法人等が30(30)名を雇用、8ヶ所<計13.1ha>(6ヶ所<計10.2ha>)の農地及び耕作放棄地を活用

※( )内は、平成23年12月13日時点の数値

また、受入情報の提供に加えて、この1月から農山漁村被災者受入円滑化支援事業を開始しました。今後、被災地域に世話人を配置し、被災農家等の意向をきめ細かく把握しつつ、被災農家等の選択肢の1つとして、受入れ可能な農山漁村地域とのマッチングの推進等の支援を進めてまいります。

なお、本支援に関する情報については、以下のホームページを御覧ください。

[http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/ukeire\\_sien.html](http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/ukeire_sien.html)

(中山間地域振興課調査調整班、集落再編対策班)

\*\*\*\*\*

## ■ 地域活性化に向けた取組

### ◇限界集落で村おこし 人気ブロガー招き、地域の魅力PRツアーを実施 ～上中ふるさとづくり地域協議会～

石川県穴水町(あなみずまち)は、能登半島の中部に位置し、農林水産業が盛んな町です。上中(かみなか)を含む4集落で構成される四村(よむら)地区は、標高200メートル前後の山中の盆地に36世帯の家々が点在し、冬には1メートルの雪に閉ざされる高齢化率5割超の過疎化が深刻な地域です。

このような状況の中で、集落では村おこしとして、平成20年度に地域住民を構成員とした「上中ふるさとづくり地域協議会」を設立し、のとキリシマツツジの産地化や米のブランド化、農家レストランの運営などを行ってきました。

また、同協議会では、昨年(H23)から「食と地域の交流促進対策交付金」

を活用し、のとキリシマツツジや棚田での米づくりなどの地域の魅力をブログ（日記風ホームページ）に掲載してもらうことにより情報発信しようと、人気ブロガー（パワーブロガー）を招いた地域のPRツアーを実施しました。

具体的には、6人の女性ブロガー（都内在住の女性起業家で平均約3,000件/日のアクセスがあるブログの書き手）を昨年9月29、30日に四村地区に招待し、初日は稲刈りやはさ掛け体験、2日目は四村地区内の散策や、田舎料理に挑戦するなど、ブロガー達と地元住民らの間で様々な交流が行われ、撮影された写真はブログに掲載されて、都市部の人々に地域の魅力がPRされました。

今年も引き続き人気ブロガーを招き、農業体験等の集落を満喫できる体験プログラムの感想や意見等を情報発信してもらうとともに、特産品や農家レストランのメニュー開発など、村おこしの方法についても助言を求めていくこととしています。

なお、詳細については以下のホームページを御覧ください。

<http://ameblo.jp/yomuran/entry-11037178538.html>

（北陸農政局農村計画部農村振興課）

\*\*\*\*\*

◇離島初のクライנגルテンが今春開業

～愛知県西尾市～

三河湾に浮かぶ佐久島（さくしま）では宿泊滞在型農業体験施設（クライングルテン）の整備が進められています。1区画に木造平屋建て（ロフト付き）延べ53平方メートルの宿泊施設と約70平方メートルの菜園があり、約7500平方メートルの敷地に10区画あります。この施設整備には農山漁村活性化プロジェクト支援交付金が活用されています。

現在、西尾市役所佐久島振興課（一色支所内）において、クライングルテン10区画の利用申込みを1月31日（火）まで受け付けています。

また、東京都在住の女性が80日間佐久島で生活し、その様子や島の魅力を漫画で伝えたブログも発信されています。

なお、詳細については以下のホームページを御覧ください。

<http://www.japan-net.ne.jp/benten/>

（東海農政局農村計画部農村振興課）

\*\*\*\*\*

■ 報告・お知らせ

◇「グリーン・ツーリズムインストラクター研修会」の開催案内

農山漁村を訪れる方々に安全かつ有意義な時間を過ごしていただくため、地域の案内や体験活動を指導できる人材“GTインストラクター”が求められています。(財)都市農山漁村交流活性化機構では、「地域案内コース(GTインストラクター入門編)」(9月7日～9日開催済)、「体験指導コース(GTインストラクター実践編)」(12月13日～16日開催済)、「企画立案コース(GTインストラクター上級編)」(平成24年3月6日～9日開催)の3コースを開設しています。

受講者全員に修了証を付与し、各コース最終日の試験に合格された方を認定者(入門編:エスコーター、実践編:インストラクター、上級編:コーディネーター)として同機構の「GT人材データベース」に登録します。

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.ohrai.jp/school/green1.html>

(都市農村交流課グリーン・ツーリズム班)

\*\*\*\*\*

◇歴史的風致維持向上計画の認定報告(12/6)

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(通称:歴史まちづくり法)」は、地域の歴史的な風情、情緒を活かしたまちづくりを支援すべく平成20年5月23日に公布され、同年11月4日に施行されました。

この法律は、我が国固有の歴史的建造物や伝統的な人々の活動からなる歴史的風致について、市町村が作成した維持向上のための計画(歴史的風致維持向上計画)を国が認定することで、計画に基づく法律上の特例や各種事業により市町村の歴史まちづくりを支援するものです。

この度、法第5条に基づき計画認定申請があった、宮城県多賀城市の歴史的風致維持向上計画について、主務大臣(文部科学大臣、農林水産大臣及び国土交通大臣)が認定を行いました。

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.mlit.go.jp/crd/rekimachi/nintei/nintei.html>

(農村計画課土地利用計画班)

\*\*\*\*\*

◇住民参加型計画作成手法に関する研修会（ワークショップのシナリオ作成研修）の開催案内（2/15～2/17）

地方自治体等の地域計画づくりの手法として活用されている「ワークショップ」等の住民参加型の計画手法は、各地域の特性を活かし、地域住民の意向を反映した個性のある地域づくりを進めるうえでとても有効な手法です。

（財）農村開発企画委員会では、地域づくり全般に関する行政等担当者を対象に、住民参加型計画作成手法の技術（特にワークショップのシナリオ作成技術）の習得を目的とした研修会を平成24年2月15日から2月17日にかけて開催いたします。

本研修会は、平成16年度から開講しており、今年で8年目（8回目）を迎え、これまでに98名の研修生が本講座の修了証を手に入れました。

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.rdpc.or.jp/contents/00info/00linfo24.html>

((財) 農村開発企画委員会)

\*\*\*\*\*

◇「農山漁村コミュニティ・ビジネスセミナー」の開催案内

農山漁村地域において、子ども達との交流を持続的に行っていくためには、小学校以外の受入機会を増やすことや6次産業化、地産地消の観点を取り入れた「農山漁村コミュニティ・ビジネス」の展開が期待されているところです。

当機構では、その展開方法を検討いただく機会をつくるために、中国四国地方（岡山市）と九州地方（熊本市）で「農山漁村コミュニティ・ビジネスセミナー」を開催します。ぜひ、お近くの方は御参加ください。

【中国四国地方】

○日時：2月9日（木）13：00～16：30

○場所：岡山国際交流センター7階多目的ホール  
（岡山県岡山市北区奉還町2-2-1）

○参加費：無料

○定員：50名（受付は先着順）

○申込締切：2月3日（金）

【九州地方】

- 日時：2月14日（火）13：00～16：30
- 場所：くまもと森都心プラザ 第5・6会議室  
（熊本県熊本市春日1-14-1）
- 参加費：無料
- 定員：50名（受付は先着順）
- 申込締切：2月3日（金）

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

「中国四国地方開講」の申込方法等の紹介

<http://www.ohrai.jp/kodomo/news/h23chuugokushikoku-seminor.html>

「九州地方開講」の申込方法等の紹介

<http://www.ohrai.jp/kodomo/news/h23kyuusyuu-seminor.html>

（（財）都市農山漁村交流活性化機構）

\*\*\*\*\*

◇農村計画学会2012年度春期大会シンポジウム開催案内（4／7）

豊かで美しい農村環境と、活力と魅力にあふれた農村社会の創出をめざす教育・研究者、行政実務者、技術者及び地域生活者の交流・啓発の場である農村計画学会では、「東日本大震災から1年—地域コミュニティの復興に向けて—（仮題）」と題して、以下のとおりシンポジウムを開催します。

- 日時：4月7日（土）13：30～17：30
- 場所：東京大学農学部弥生講堂

なお、当日の午前中には、学術研究発表会を開催します。

【会費】

- <春期大会シンポジウム・学術研究発表会参加費>
- 会員 3,000円
- 準会員・外国人会員 2,000円

非会員 4,000円

(なお、シンポジウムのみ参加者は無料としますが、シンポジウムの資料代は、別途実費をいただきます。)

#### 【参加申込み方法】

当日の受付迅速化のため、大会に参加予定の方は、3月31日(土)までに事前申込みを必ずお願いいたします。E-mail又はFAXにて下記の事項を大会実行委員会までお知らせ下さい。

氏名、所属、会員・非会員の別、学生・一般の別、メールアドレスもしくはFAX番号

#### 大会実行委員会

E-mail : [arp2012sp@gmail.com](mailto:arp2012sp@gmail.com)

FAX : 0857-31-5410

なお、詳細については以下のホームページを御覧下さい。

<http://www.rural-planning.jp/>

(農村計画学会)

\*\*\*\*\*

#### ◆◇ 編集後記 ◇◇

平成24年が始まりました。昨年は東日本大震災、暴風雨及び豪雨等、自然災害に多く見舞われた年でしたが、今年は復旧・復興に向けた取組に我々も更に推進してまいります。

年初来、寒気が流れ込み、来月にかけても日本海側を中心に大雪が予想されて心配な面がありますが、2月以降、都市部では次のような開業やイベント等が予定されています。例えば、2月には恐竜が向き合っているような外観といわれる東京港臨海道路(東京ゲートブリッジ)が開通、5月には自立式鉄塔としては世界一の東京スカイツリーが開業、6月には東京駅丸の内駅舎が開業、7月には通天閣誕生100周年、初夏には新東名高速道路の御殿場JCT~三ヶ日JCT間が開通する予定です。また国外では、7月にはロンドンオリンピックが開幕する予定です。

農村地域でも、地域振興に向けた数多くの取組が行われます。先に挙げたような全国的なものでなくとも、地域の創意工夫による、皆さんが協力して取り組まれるような活動について、本年も、「地域づくりコミュニケーション—農村振興メールマガジン—」ではお伝えしていきますので、引き続き、よろし

くお願い申し上げます。

\*\*\*\*\*

◆◇ ご意見をお寄せ下さい ◇◆

本メールマガジンに対する皆さまの声を遠慮なくお寄せください。また、皆さまの地域での活動や取組の紹介などもお願いします。皆さまからのご質問・ご意見、地域の活動などの情報につきましては、可能なかぎり回答あるいは紹介させていただきます。

本メールマガジンに関するご質問・お問合せについては、次のサイトから送信をお願いします。

<https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/b6c2.html>

農村振興メールマガジンのバックナンバーは次のサイトでご覧いただけます。

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/nousei/e-mag/index.html>

\*\*\*\*\*

■ 編集発行

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局農村政策部農村計画課（担当）稲垣

TEL：03-3502-6001 FAX：03-3501-9580

\*\*\*\*\*